

2015 年度湘南藤沢学会研究助成基金成果報告書

## 神山調査合宿

～ランドスケープの視点から日本の地方の暮らしを学ぶ～（石川初研究室）

環境情報学部 2 年 稲田玲奈

### 1. 活動概要

日程：2016 年 3 月 9 日（水）～11 日（金）

場所：徳島県名西郡神山町

参加者：先生 1 名 + 学生 7 名

### 2. 活動目的

本活動は第一に学生が神山町に訪れ、現地調査やその分析発表、地元住民との共同ワークショップの補助を行うことで、机上の学習では学ぶことのできない、地域調査の実践的スキルの習得、分析の視覚化の習得などの実地教育効果を目的とする。第二に、神山町は過疎化の現状を受け入れ新しい取り組みを行う、日本で最も注目されている地域のひとつである。実際に活動をする地元住民や移住者の話を聞き、意見交換を行うことで、このような地域にとってどのような研究や事業が求められているのか知ることが目的である。

### 3. 活動内容

- ・ 町内調査
- ・ 町民との意見交換
- ・ 町内施設見学
- ・ 講演会
- ・ 町民/町長への調査発表





#### 4. 活動成果・展望

今回の活動を通し、参加者は事前調査の考察を踏まえ、神山町での現地調査・地元住民との意見交換・調査発表を行うという一連を実際に経験した。普段の関東周辺の調査とは異なり、課題を多く抱えたこの神山町では地域の人から我々石川初研究室が専門とするランドスケープの視点が求められた。実際に地域を調査し、住民やこの地域への来訪者との意見交換を通すことで、社会の中でわれわれにどのような研究やアウトプットが求められているかを教わる機会となった。具体的には、人口減少による過疎化が進む中、地域の中の“どこを、どのように残すか”と場所を適切に選択する必要がうまれていた。そこで私たちには、選択のための風景の指標やアドバイスが求められた。

今回は地形や地質、文化、短期間のフィールド調査からわかることを地域に発表したが、この問いの答えは今回の3日間だけではなく、これから数年かけて神山町と関わり、調査を続け、成果物を製作しながら少しずつ見つけていきたいと考えている。

#### 5. 謝辞

本活動の実施に際し、資金面でご支援をいただいた湘南藤沢学会様に厚く御礼申し上げます。